

(別記)

春日井市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農業は、温暖な気候や豊かな水等に恵まれ、水稲のほか、北部の丘陵地において、もも、ぶどう、かき等の果樹やサボテンが生産されている。しかしながら、近年は都市化の進展に伴う農家や農地の減少、農業従事者の高齢化、後継者の不足等の課題を抱えている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

米については、作付品種が「あいちのかおり」、「あさひの夢」に集約されており、地元作物の地産地消の取り組みとして、農協の営農生活センター及び産直施設での販売促進を図る。

(2) 非主食用米（加工用米）

主食用米の需要減が見込まれる中、主食用米の作付けから加工用米の作付けへと転換を図る。

(3) 高収益作物（野菜等）

国や市の補助金を活用し、地域振興作物である野菜等の作付けを奨励する。

(4) 不作付地の解消

農地所有適格法人の新規参入を促し、農業従事者の高齢化等に伴い増加する不作付地を貸し付け、その解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	243	240	240
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米	3.4	4	4
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物	0.8	0.8	0.8
野菜等	0.8	0.8	0.8

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)	平成 30 年度 (目標値)
1	野菜等	高収益作物（農業・農村の所得増加）	ア	実施面積	0.8	0.8	0.8

※「分類」欄については、実施要綱別紙 15 の 2（6）の ア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。）

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標値を設定している場合は、「平成 29 年度（目標値）」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、（ ）内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり